

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	タゾバクタム/ピペラシリンの投与量と急性腎障害（AKI）発症リスクに関する検討		
② 実施予定期間	実施許可日 から 2024年3月31日		
③ 対象患者	対象期間中に当院でタゾバクタム/ピペラシリンによる治療を受けられた患者さん		
④ 対象期間	2017年1月1日 から 2021年12月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	全診療科		
⑦ 研究責任者	氏名	河口義隆	所属 薬剤部（感染制御部）
⑧ 使用する情報等	タゾバクタム/ピペラシリンの用法用量、投与歴 併用抗菌薬の投与歴 患者さんの背景（年齢、性別、身長、体重）、日常診療で実施された血液検査結果（血清クレアチニン値、血清アルブミン値）		
⑨ 研究の概要	<p>細菌による感染症治療薬（抗菌薬）の多くは、患者さんの背景の違いや、原因となる菌の抵抗性の強さを考慮することで、副作用を回避し、かつ、効果的となる最適な投与量を計画することが可能となります。感染症治療薬であるタゾバクタム/ピペラシリンにおいても、腎臓の機能に応じて投与量を調整することが推奨されています。しかしながら、原因となる菌の抗菌薬への抵抗性は個々の患者さんで異なり、抵抗性が強ければ、より多くの投与量が必要になりますが、同時に副作用のリスクも高くなります。また、感染症治療の多くは、原因菌が判明する前に開始されるため、効果と副作用の双方を考慮した投与量を一律に決定することは現実的な状況にありません。</p> <p>本研究では、当院で組織している抗菌薬の適正な使用を支援するための多職種連携チームがこれまでに日常診療において実施してきたタゾバクタム/ピペラシリンの投与歴を含む動向調査で得られた情報から、腎臓の機能と投与量および菌の抵抗性との関係を数値化し、副作用のうち、急性腎障害（Acute Kidney Injury：AKI）発症との関連性を検討することを目的とします。</p>		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2022年 12月 27日	
⑪ 研究計画書等の	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及		

閲覧等	<p>知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。          詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。</p>		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	奨学寄付金		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 薬剤部（感染制御部） 担当者：河口義隆		
	電話	0836-85-3075	FAX 0836-22-2485